

平成25年度 第3回中小企業振興会議 議事要旨

日 時	平成26年3月12日(木) 午後6時15分から午後7時15分まで
場 所	クリエイション・コア東大阪 南館3階技術交流室A
出席者	<p>○中小企業振興会議委員 阿児委員、石田委員、角本委員、糸野委員、小杉委員、園田委員、高田委員、田中委員、寺浦委員、寺尾委員、中嶋委員、西松委員、文能委員、丸谷委員、森田委員、脇田委員</p> <p>○事務局 大林経済部長、米谷経済部次長、鶴山モノづくり支援室長、辻井労働雇用政策室長、望月経済総務課長、巽モノづくり支援室次長、出口商業課長、土山労働雇用政策室次長、紀先農政課長、森脇経済総務課主査、名部商業課主査、尾崎商業課主任</p>
案 件	<p>1. 各部会における中間報告について</p> <p>2. 平成26年度中小企業の振興に関する施策(案)について</p>
議事要旨	<p>開会</p> <p>○案件1【各部会における中間報告について】</p> <p>資料1、資料2-1、資料2-2、資料2-3に基づき、糸野モノづくり支援施策のあり方検討部会長より、モノづくり支援施策のあり方検討部会の報告を行った。資料2に基づき、中嶋地域商業の魅力と活力の再生検討部会長より、地域商業の魅力と活力の再生検討部会の報告を行った。資料3、資料3-1、資料3-2、資料3-3、資料3-4、資料3-5に基づき、上田農業振興検討部会長より、農業振興検討部会の報告を行った。</p> <p>【以下質疑応答】</p> <p>(委員) 農業振興検討部会の報告について、数点の質問がある。本市農業について農業法人等を用いた集約化の方向性はあるのか。また、農業の第6次産業についてはどうか。さらには、八尾市では特産物である若ごぼうが地域団体商標登録をされたが、本市でも農産物の地域ブランド化できるような候補はあるのか。</p> <p>(上田部会長) 本市の農地の特徴として、農地面積のうち76.6%、183haが市街化区域内にあること、さらには、資料3-5で説明したとおり、税制面・法制面での制約があり、現状では集約化が困難な状況にある。また、法人化については、産業としてある程度の出荷量がないと採算ベースに乗らないことより、農業振興検討部会の中では、法人化までの議論は行っていない。次に農業の第6次産業については、農産物の生産・加工・流通まで業務展開するものだが、これについても、同一品目の出荷量がある程度必要であることより、現状では困難な状況にある。本市ではファームマイレージ2運動に取り組んでいるところだが、産業化するには出荷量がネックとなると考えている。次に農産物の地域ブランド化については、前回の農業振興検討部会でも議論されたところであり、現在部会において地域ブランド化できるような農産物の候補を考えているところであり、焦点を絞ったものについては今後の課題としたい。</p> <p>○案件2【平成26年度中小企業の振興に関する施策(案)について】</p> <p>資料4に基づき、望月経済総務課長より、平成26年度中小企業の振興に関する施策(案)について説明を行った。</p> <p>閉会</p>